



February 2006 No. 55

(本部事務局)(財)日本特産農作物種苗協会内 〒107-0052 港区赤坂 2-4-1
(つくば事務所) 農業情報学会内 JRTつくば事務所
〒305-0034 茨城県つくば市小野崎 143-3
TEL 029-856-8708 FAX 029-856-0024
<http://www.jrt.gr.jp>

目次

| | |
|--------------------------------|-----------|
| 第10回日本いも類研究会総会の開催について | 事務局 1頁 |
| 第18回食・農・環境の情報ネットワーク全国大会の開催について | 農業情報学会 2頁 |
| いも類新品種等試験栽培について | 事務局 4頁 |

第10回日本いも類研究会総会の開催について(ご案内)

日本いも類研究会
会長 井上 浩

会員の皆様方には、日頃から研究会活動にご協力いただき改めてお礼申し上げます。

さて、第10回いも類研究会総会を下記の日程で開催することになりましたので、お知らせいたします。

【日時】平成18年3月23日(木)

| | |
|-----|--------------------------|
| 受付 | 13:30～ |
| 講演 | 14:00～17:00 |
| 総会 | 17:00～17:30 |
| 懇親会 | 18:00～19:30(会費:5,000円/人) |

【会場】南青山会館 新館2階大会議室

東京都港区南青山5-7-10

TEL:03-3406-1365

【スケジュール】

- 13:30 総会受付
 - 14:00 講演 焼酎をめぐる情勢(薩摩酒造株式会社東京支店長 今村 五雄氏)
 - 15:00 " さつまいもの大害虫アリモドキゾウムシ、イモゾウムシ
根絶事業の現状と今後の展望(近畿大学教授 杉本 毅氏)
 - 16:00 " じゃがいも機械化体系をめぐる事情(農林水産省 後藤 寿氏)
- 注)講演題目は、事務局からお願いしている仮題です。

17:00 第10回日本いも類研究会総会

17:30 閉会

18:00 日本いも類研究会懇親会

19:30 閉会

【申し込み期限】平成17年3月10日(金)【同封のはがきで出欠をお知らせください。】

【問い合わせ先】 日本いも類研究会事務局

農林水産省生産局特産振興課いも類班 塚本 和彦

TEL:03-3502-8111(内線3701)



第18回食・農・環境の情報ネットワーク全国大会
適正農業規範 GAP(Good Agricultural Practice)全国会議

農業情報学会

日本いも類研究会会員は、講演等の受講料が会員価格(予定)で参加できますので、奮ってご参加ください。

日時:2006年4月27(木)~28日(金)

場所:東京都立産業貿易センター浜松町館4階 〒105-0022 東京都港区海岸1-7-8

主 催: 農業情報学会 JGAI 協会

共 催: NPO 水産衛生管理システム協会, 食品トレーサビリティシステム標準化推進協議会, 食品流通
における HACCP 導入協議会, 日本精米工業会, 農薬工業会, 日本いも類研究会, 日本生物
環境調節学会, 農業施設学会, 日本フードシステム学会, 食品工学会, 食品科学工学会, 日
本農業普及学会, 農業機械学会, 農業経営学会,

後 援: 農林水産省, 社団法人日本農業法人会, 日本農業新聞(予定)

課 題: GAPで食品安全と持続的農業の確立を

同時開催: 【農業・情報・技術展 18th Agro-information Expo】

【農業技術・情報セミナー 新たな農業ビジネスのために】

【トレースフィッシュ 水産物の安全性確保の実態と方向】

【JGAP 農産物商談会・GAPに取り組む生産者農場の展示】

4月27日(木)

【開会式】 9:30 - 9:45

・主催者挨拶 農業情報学会会長, JGAI 協会会長

【シンポジウム1 - 今なぜ GAP なのか - 】

【基調講演】 9:45 - 10:15

・農林水産省における食品安全GAPの考え方と普及方策 農林水産省消費・安全局(依頼)

【記念講演】 10:15 - 12:00

・世界のGAP事情と日本に相応しいGAPの実践

EurepGAP 国際本部 FOODPLUS 代表取締役 クリスチャン・ムーラ

・EurepGAP 代表ムーラさんと意見交流

人間と地球と利潤の間に矛盾のない農業生産システムを目指して

【講演 1】 13:15 - 14:15

・残留農薬等のポジティブリスト制度 農林水産省消費・安全局(依頼)

・ポジティブリスト制度とドリフト対策について(依頼)

【講演 2】 14:30 - 15:15

・GAPにおける衛生管理項目について 泉 秀実 近畿大学(依頼)

【講演 3】 15:30 - 16:30

・日本の風土・文化に相応しい農産物生産の安全管理手法を目指して JGAI 協会

【JGAI 総会】 17:00 - 18:00

4月28日(金)

【シンポジウム2 - GAPは日本農業の生き残り戦略 - 】

【日本版 GAP 入門・実践講座】 9:00 - 10:45

・JGAP 実践講座 - 農産物の安全性確保と環境負荷の低減 -

・JGAP 導入の手順 - JGAP ver2 の解説と導入の手続き -

【スタートした日本の GAP】

【GAP 報告 1-4】 11:00 - 12:00

・単独生産者農場のGAP導入報告 (依頼)

・生産者団体のGAP導入報告 (依頼)

・農協の記帳運動とGAP 全中(依頼)

・世界標準のJGAP JGAI 協会

【JSAI 理事会・評議会・総会】 12:00-14:00

【GAP 報告 5-7】 14:00 - 14:45

- ・スーパーマーケットのGAP イオン(依頼)
- ・生協が取り組むGAP 日生協(依頼)
- ・都道府県が取り組むGAP 愛知県(依頼)

【総合討論 - GAPは日本農業を救えるか?】 14:45 - 16:00

- ・GAP報告者 1-7 パネルディスカッション
- 座長 大下誠一 東京大学

同時開催 4月27日 9:00-17:00 4月28日 9:00-16:00

Agro-information Expo

【農業・情報・技術展】

【安全で持続的な農業を支える農業技術・情報システムの展示】

【農業技術・情報セミナー】

【新たな農業ビジネスのための農業技術・情報システムのセミナー】

【トレースフィッシュ・水産物の安全性確保の実態と方向】

【水産物安全性確保のためのセミナーと技術展示】

【JGAP 農産物商談会】

【GAPに取り組む生産者農場の展示・農産物商談会】

日本いも類研究会によるいも類新品種等試験栽培について

(平成 18 年向け)

日本いも類研究会事務局

日本いも類研究会では、ジャガイモとサツマイモの新品種を中心としたユニークな品種をピックアップし普及を図るため試験栽培を行っています。

奮ってご参加いただけますようご案内いたします。申し込み方法等につきましては、http://www.jrt.gr.jp/trial/t_index.htmlでご確認ください。

~~~~~

編集後記【閑話】

めっきり春らしくなってきました。関東でももうじきジャガイモの植付がはじまります。今年は何の品種を植えようか、と考えている今が一番楽しい時と思うのは私だけでしょうか。新品種等の試験栽培を活用して皆さんも挑戦してみませんか。